



| 種 別 | 県指定 民俗文化財（無形） |
|---------|--------------------|
| 名 称 | くりやまだいかぐら 栗山太神楽 |
| 指定年月日 | 令和7年4月9日 |
| 保 護 団 体 | 栗山太神楽保存会 |

史実としての起源は不明だが、18世紀前葉(宝永年間)には演じられていた記録がある。また19世紀初頭、盛岡藩のお抱え芸能集団であった七軒丁が、太神楽や各種演目を栗山の者に伝授したとされる。

栗山の神楽集団は下北半島各地を歩いて芸を伝承したとされ、当地方では東通村の目名太神楽と共に師匠格である。また田名部神社の例大祭において、代々神輿渡御行列の先頭で先祓いを務めており、同神社の歴史を考える上でも重要な民俗芸能である。